



編集・発行
 日蓮宗 能勢妙見山
 広報部
 〒563-0132
 大阪府豊能郡能勢町野間中
 電話 072-739-0329
 FAX 072-739-2883

冬の三大行事

冬の三大行事（星祭・お火焚祭り・報恩大祈祷会）の一つ
 お火焚祭りが2月11日（祝）に催されます
 願い事を書いた祈願矢を火に投じて祈ります

【2月の主な行事】

☆節分星祭祈祷 3日(木)

一年の善星皆来・悪星退散を祈り御祈祷します

☆国権会くお火焚祭りく 11日(祝)10時から法要

旧年のお札等・祈願矢を火に投じて祈ります

当日はケーブル&リフトが臨時運行します

★月例祈願法要 15日(火)13時

★鷗様月例祭 22日(火)15時

ご祈祷を受けた方には火伏せの黒札を授与

【3月の行事予定】

☆報恩大祈祷会 6日(日)

修法加持特別祈祷

荒行僧の水行はありません

★写経会 13日(日)11時 よろづや2階にて

★月例祈願法要 15日(火)13時

★春季彼岸会法要 22日(火)13時

★鷗様月例祭 22日(火)15時

●清掃の日・星嶺演奏会・茶論は当面の間休止

○諸行事は社会情勢により変更する場合あり

○ご祈祷・ご回向等は

郵便・FAX・メールでも受付けています

○写経はご自宅でもできますお問合せ下さい

○出会の鐘巡りは「ひらがなあつめ」に代えて実施中

○登山カード押印は休止

○送迎車の運行は休止しています

◆ケーブル&リフトは3月18日まで運休中です

モノにも心がある

倉橋 観隆

パソコンお使いの方、愛機のご機嫌いかがですか？

つい先日、私の片腕のパソコンが急に不調を来たし遂に壊れてしまいました。

原稿の締め切りが迫っている中、不安ながらもキーを叩いていた時、突然画面が真っ暗になってしまったのです。何度電源ボタンを押しても反応なし。頭の中は真っ白。「買ってまだ二年なのに」怒りと同時にデータが飛んでしまった焦燥と困惑……。

時間を置いてスイッチを入れたり線を抜いたり差したり。空しい努力でした。その日はついに諦めました。翌日、愛機をさすりながら「一回でいいから立ち上がってくれ」お題目を唱えてスイッチを押しました。と、ランプが点灯したのでは

ありませんか。息を吹き返してくれたのです。

「ありがとうございます！」思わず愛機をさすりました。「この原稿を打ち終えるまで生きていてくれ」念じながらキーを打ち続けました。最後まで書き終え、相手さんに送信し、続けてパソコンに入っているデータを総て保存専用の機器に移し終えた、その時、画面が真っ黒になってしまいました。ギリギリセーフ！愛機は二度と立ち上がらなくなりました。「ありがとう」「ありがとうございます」お題目を唱え慰労しました。本当に不思議な体験でした。無機質な機械としか思っていないかったモノが私の祈りに応えてくれたのです。

皆様は偶然と思われるかもしれませんが、私にはお経の一節を味わわせて頂いた出来事でした。

「悉有仏性（しつうぶつしょう）」すなわち、人に限

らずモノには総て心があるのだという教えです。

本誌ゆかりの純智庵（故中村潤一上人）の『地涌の声』にこんな句がありました。

「文句を言わない足の裏

改めてモノ言わないモノにも手を合わせ「ありがとう」と声をかけることを心がけたいと思いました。

ちなみにこの原稿は新しいパソコンで書きました。



《法華経に学ぶ現代》

〜純智庵〜

爲に

證明と

作って

讚めて

善哉と

いわん

『見宝塔品第十一』

どんなに眞実語つても

聞く人耳を貸さなけりや

虚しさのみが残ります

だけど だれかがその席で

いいぞ！

君の考えは

ボクは大いに賛成と

エールを送ってくれるなら

なににも勝る 励みです

法華経茶話Ⅱ

十二支縁起⑧

最後に「名色」です。この言葉は「名」と「色」に分けて説明します。まず「名」は名称のことで、つまり概念化された状態を指します。精神的なものと考えられることもできます。「色」は形あるもの、肉体的なもの、物質を指します。この概念を「六根」に当てはめて考えてみると、眼耳鼻舌身が「色」に当たり、意が「名」に当たります。前号で説明した「識」の回で、「認識」という言葉を使いましたが、認識とは「色」（肉体としての五根）と「名」（それらを統括する意識）の対象があつて初めて得られるものなのです。

さて長々と「十二支縁起」の概要について説明してきました。観念的でわかりにくい箇所もあると思いますが「空」までもう少しです。がんばりましょう。